

尿検査のお知らせ

腎臓病・糖尿病の早期発見と早期治療のため、健康診断で尿検査が行われます。
腎臓の病気は子どもの慢性疾患の第3位をしめ、重大な疾患のひとつです。急性腎炎やネフローゼ症候群のように突然むくみや血尿を出す腎臓病は、発病初期にはほとんど症状がなく、定期的に尿検査を行わないと発見が困難と言われています。また、食生活を含めた最近のライフスタイルにより、子どもの糖尿病が急速に増加しているため、尿糖の検査も行います。これらの疾患は、治療が長期にわたることが多く、生活に支障を来す場合もあります。早期に発見し、治療をすることで、症状が軽いうちに治すことができますので、忘れずに提出をお願いいたします。

提出日 5月 16日(木)の朝



◇正しく検査を受けるための注意事項

1. 今日の夕方から、ジュースやビタミン剤を飲まないでください。

病気以外でも糖が検出されることがあります。

2. 寝る前に、必ず排尿して、ぼうこうを空にします。

16日(木)の朝、ご飯を食べる前、起きてすぐ尿をとります。

眠っている間に作られた尿なので、運動や水分の影響がなく検査できます。激しい運動や発熱時、入浴後などでもタンパクが検出されることがあります。

3. 出始めの尿をとらないで中頃から終わりの尿をとるようにします。

☆スポイトの要領で、容器の線の所まで尿をとり、もれないようにしっかりふたをします。袋に入れたら、容器が出ないように袋の口をひと折りして下さい。

女子で生理中の方は、後日(6/4)検査をします。明日は出さなくていいです。
その際、担任か保健室の中條まで必ず連絡に来てください。配られた容器は自分で保管して下さい。カレンダーの6月4日に貼っておくと無くさず忘れません。

☆16日、学校に持ってきたら、すぐに教室の袋に入れて忘れずに入れてください。

家から入れてきたビニール袋から出して、入れてください。

☆16日提出できなかった人は、次の日に持ってきて検査できません。

☆容器の袋や、紙コップ用の用紙にも注意事項が書いてあります。読んで下さい。

★忘れないために、下のメモを切り取って貼っておきましょう。

(トイレ用) 容器といっしょに

(カバン用)



朝一番のおしっこを忘れずに!

**検尿、かばんに
入れたかな?**

腎臓 は身体のクリーニング屋さん

腎臓は腰の上の方に、左右1つずつ(合計2つ)あります。
大きさ：自分のにぎりこぶしより大きめで空豆のような形
働き：1分間に約800ml~1000mlの血液をろ過して必要なもの、もう必要ないものに分けています。必要のないものは、尿として1日に1~1.5ℓ作っています。

尿検査では何を調べるの？

タンパク質、ブドウ糖、血液など身体に必要な成分まで排泄されていないかを調べます。

尿検査で発見される病気は？

糖尿病



インスリンというホルモンが不足して、うまく働かなくなることで、血液中の糖の濃度が高い状態が長く続く病気です。小児期に多い1型と、中年期以降に多い2型などがあり、1型は自己免疫性疾患が原因で、2型は生活習慣の乱れが原因です。

症状は、のどが渇く、トイレが近くなる、食べてもやせる、などがあります。



放置しているとさまざまな臓器に障害をもたらします。必ず治療を受けましょう。

ネフローゼ症候群



腎臓に障害が起こり、尿中に多量のタンパク質が流れ出してしまう病気です。

症状として、食欲不振や全身のだるさ、むくみなどがあります。早く治療する必要があります。



腎炎



細菌の感染などによって腎臓に炎症がおこる病気です。血尿、頭痛、発熱、むくみなどの症状があります。慢性化しないために、完全に治療することが大切です。

腎臓の働きが良くないと身体に不要物や毒素がたまったままになったり、身体に必要なものも排出していることとなります。少しでも早く発見することが必要です。生活や食事など制限が必要になってしまうこともあります。

尿検査は年に一度は、ちゃんと調べておきましょう。